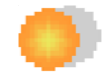


平成22年6月期 第2四半期決算説明資料

平成22年3月26日

株式会社アイ・ピー・エス



会社概要

- I. 平成22年6月第2四半期決算概要
- II. 平成22年6月期業績見込

- **Implementation Partner for SAP**
- **SAP ERPの導入サービスをメイン・ビジネス**
 - 10年間で25社の導入実績
 - 導入前段階でのSAP ERP導入検討コンサルティングから導入開発
 - 運用開始後の保守サポートサービスまでトータルにご提供致します
 - テンプレートによる一括請負導入

● **1997年6月 設立 (2001年12月 ジャスダック上場)**

- **本社** 神戸市中央区
- **営業所** 東京都千代田区
- **資本金** 2億5525万円
- **従業員数** 64名



(2009年12月末現在)

ERPパッケージをベースにした
基幹業務システムの構築

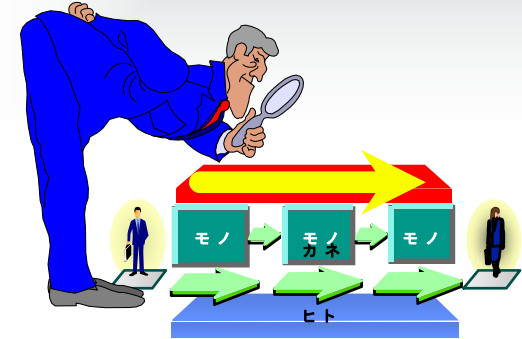
ERP関連各種商品開発

コンサルティング
サービス

外部支援事業

保守開発事業

ENTERPRISE = 企業の → 企業内の
RESOURCE = 資源を → 全ての資源を
PLANNING = 計画する → 最も効率の良い再構築計画を行う



● ERPとは

企業における経営資源(人、モノ、金、情報)の状況‘今現在の状況’を管理、把握し、企業活動を行うという経営コンセプト

● ERPパッケージとは

企業における資源の管理をするために必要な機能 (例:会計システム、調達システム、販売システム、生産システム、人事システム、)を持ち、かつ全システムが有機的に統合されている構造を持つソフトウェア



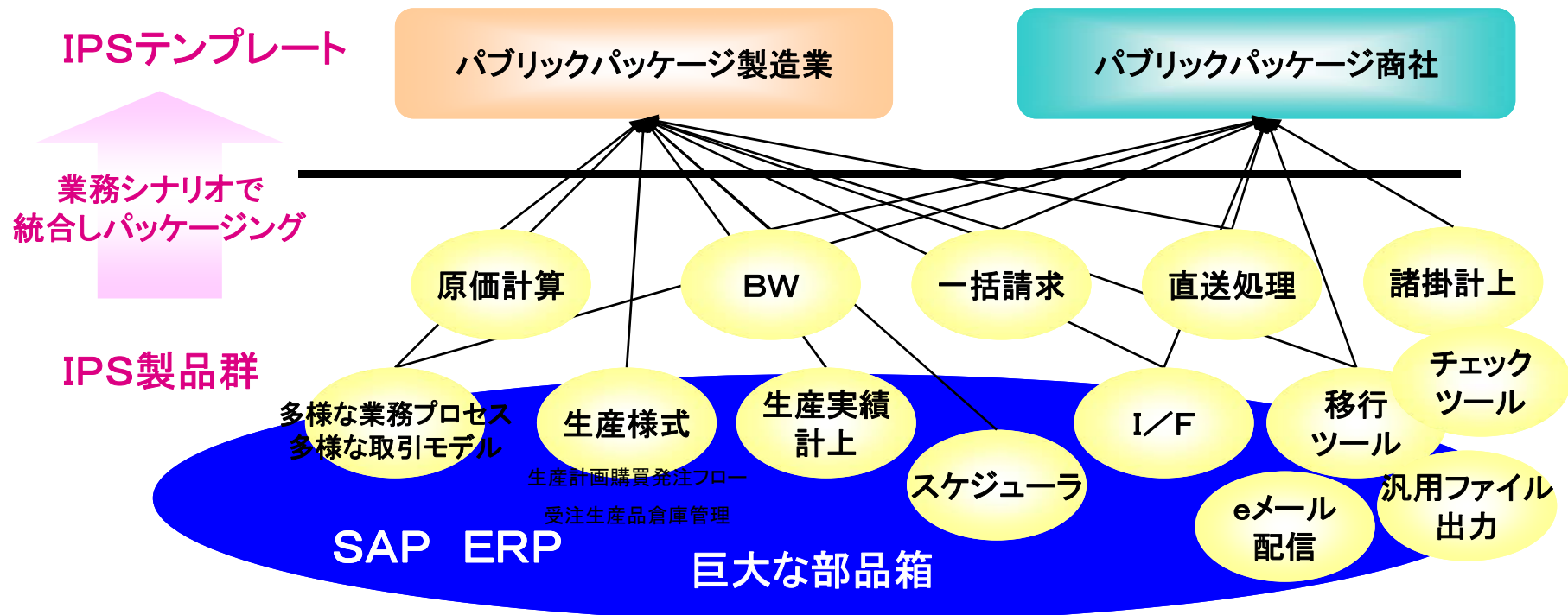
ERPそのものが基幹システム
従って、導入時に重要なことは・・・
システム導入の狙いを明確に設定し
目標実現の為のツール利用技術を徹底的に考えること!!

IPS製品のご紹介

IPSのテンプレートとは

➤IPSテンプレートの核は完成された個別の製品群です。これまでの導入経験により、業務を実現する為に不足する機能、使いやすさを補完する機能をIPS独自で追加開発(開発規模200人月)してご提供しております。

- IPSパブリックパッケージ(商社)
- IPSパブリックパッケージ(素材・化学)
- IPSパブリックパッケージ(BW)
- インターフェース会計



代表的なIPS製品のご紹介

- 商社テンプレート IPSパブリックパッケージ(商社)

 - 業種 : 総合商社、専門商社、卸業商社
 - 特徴的な機能 : 商社の多種多様なビジネスモデル、サービスへの対応
取引モデル、事業・品種の多様性への対応
BW(データウェアハウス)の実装

- 製造業テンプレート IPSパブリックパッケージ(プロセス系製造業:化学)

 - 業種 : 化学、素材、消費財
 - 特徴的な機能 : 損益管理と原価計算
“何が儲かっている、何が損しているかわかる”
BW(データウェアハウス)の実装

- BWテンプレート

 - 業種 : 特に問いません
 - 特徴的な機能 : 主要基幹業務を統合するデータウェアハウス
“全ての管理帳票をBWで出力！”
今までの紙による平面の情報が、全て立体的に提示されます”



I . 平成22年6月期第2四半期決算概要

当期の経営環境

- ・ 当社の事業領域であるIT市場、特に中堅企業向けERP市場においても先行き不透明感を受けて企業のIT投資計画の中止、延期、規模縮小の動きが引き続き現われております。
- ・ 当社は1件あたりの受注額が高い元請けビジネス領域に特化したビジネスモデルが主力事業であり、導入検討中の企業にとっては投資額が大きくなるため、国内景気に左右される度合いが高く前期に引き続き、厳しい受注環境となっております。

そのような経営環境において当社は・・・

- ・ ERP導入事業における元請けビジネスと共に、アライアンス・ビジネスの営業を強化し受注の安定に努め、営業チャネルを大きく開き、且つ、当社の強みであるノウハウや製品群を活かした営業活動に注力して推進しております。

この結果、当社がこれまで継続的に開発・蓄積して参りましたテンプレート製品群を活用した付加価値の高いサービスにより、利益率の向上に寄与する結果となっております。

- ・ また、当社元請けビジネスに関する営業につきましても、見込客の発掘活動につきましても従来のテレマーケティングを活用するとともに、セミナー等を開催して、経済環境を考慮した原価管理の強化や損益管理の強化を図ることを訴求ポイントに、営業を進めております。
- ・ 提案活動におきましても、提案案件の絞込みを徹底すると共に、上記訴求ポイントに注力した提案内容の充実を進めて参りました結果、受注成果に繋がって参りました。

◆売上高	5億7千4百万円 <前年同期比 11.3%減>
◆経常利益	4千3百万円 <前年同期比 10.4%増>
◆当期純利益	2千4百万円 <前年同期比 21.5%増>

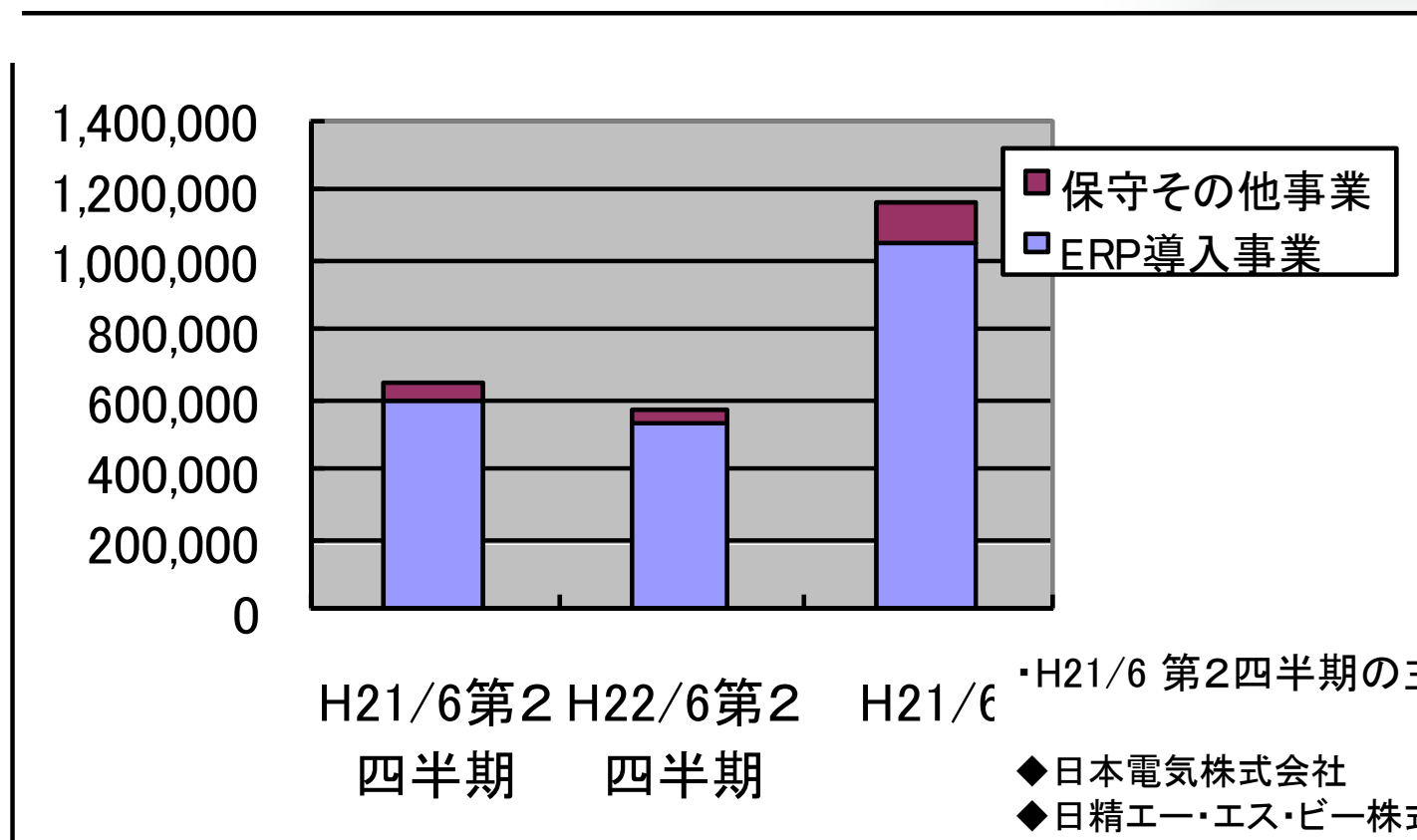
平成21年6月期業績概要(前年同期比)

(単位:百万円)

	H21/6期 決算	H20/6期 決算	前年同期比
売上高	1,162	931	24.9% 増
営業利益	73	41	76.5% 増
経常利益	74	43	72.3% 増
当期純利益	42	20	108.8% 増
1株当たり 当期純利益	1,746円19銭	824円73銭	-

セグメント別売上高

(千円)



・H21/6 第2四半期の主な売上先

- ◆ 日本電気株式会社
- ◆ 日精エー・エス・ビー株式会社
- ◆ マツモト産業株式会社
- ◆ デイスター・コンサルティング株式会社

Ⅱ. 平成22年6月期業績見込

平成22年6月期業績見込(前年同期比)

H21/6期 (実績)	H22/6期 (予想)	前年同期比
1,162	1,200	3.3% 増
74	85	14.9% 増
42	47	11.9% 増

■ 本資料についてのご注意

本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。また本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。